

2013年7月25日(木)の山陽新聞朝刊で記事が紹介されました。
(山陽新聞社より転載許可承諾済)

平林金属ク 王座奪還へ

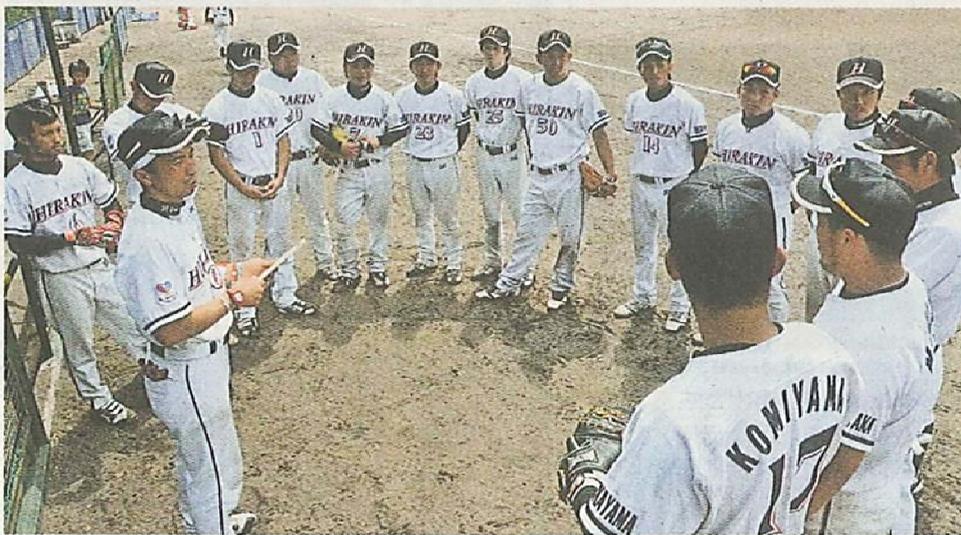
ソフトボール男子の全日本クラブ選手権は26日、岐阜県羽島市のはしま清流スタジアムを主会場に開幕し、平林金属ク(岡山市)が2年ぶりの優勝に挑む。昨季は日本リーグ制覇など全国3冠を達成したが、今季の1冠目獲得へ、打線の奮起が鍵を握りそうだ。(村上達也)

全日本クラブ男子ソフト あす開幕

投手陣安定、鍵は打線

平林金属クは、前半戦を終えた西日本リーグで現在2位(6勝3敗)に付ける。投手陣の安定感が光り、1試合平均2・7失点とリーグ2位の少なさ。日本代表の松田と横島の両右腕が先発で試合をつくり、切れの良い変化球を投げ込む左腕森田が控える。今大会は猛暑の中、決勝に進めば5試合を3日間で戦うことになるが「松田を中心に投手陣は計算できる」と吉村監督の信頼は厚い。

課題はやや迫力不足の打線。引退などで中軸2人が抜けた影響が大きく、1試合平均3・7得点と昨季(6・7得点)から大幅減となった。その中で期待が掛かるのが新主砲の小見山だ。5本塁打11打点はリーグトップで「4番を任せられ、走者をかえすこと



に集中して打席に入れてい
る」と好調の要因を語る。日
本代表の木谷、松田、谷口が
前後に並び、上位打線は力が
あるだけに「下位打線がいかに
好機をつくれるかがポイント
」と主将の小原。つなかり
に重点を置いて調整してき
た。

リーグ首位のNeo長崎と
の対戦が予想される準決勝が

▲ 全日本クラブ選手権で2
年ぶりの王座奪還に挑む
平林金属クのナイン 〓 H
IRAKINライズ球場

大きなヤマ場となりそう。「厳
しい戦いになると思うが、粘
り強く勝ち抜き優勝する」と
松田。3位に終わった前年の
雪辱を果たし、今季初タイト
ルを奪いにいく。

岡山勢では他に新見城山ク
が出場。まずは地元の高島
山板金SCとの初戦を勝ち上
がり、上位進出を目指す。